

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2003年7月8日

### 2003年7月6日現在：

この週は多少気温が下がったが、降雨は無く乾燥した気象であった。7月6日に終わる1週間の州平均農作業日数は前週に続き6.9日（前週：6.9日）であった。最高気温は87～95度F、平均気温は平年を凡そ1～5度F程下回った。東中央地区（EC）及び南東地区（SE）では降雨は記録されなかった。1週間の土壌水分は前週より落ちた。冬小麦は完熟に向かっており、東中央地区の乾燥地帯で収穫が開始された。2週続きの乾燥は完熟期に在った冬小麦の作柄にはそれ程影響を及ぼさなかったが、春小麦には各地で水分不足によるストレスが現れた。Whitman 群の春小麦も単位収量の減少が心配さ出した。

7月6日現在、全州の冬小麦の1%が収穫された。昨年並びに平年（過去5年平均）と同じ収穫開始である。気温が下がった為、作柄は多少前週より改善した。単位収量は平年以上であり、ソフト小麦の品位は低蛋白・高容積重が期待される。

春小麦の99%が出穂した（昨年：96%、平年：92%）。降雨を極めて必要としている。乾燥気象であったが、気温が低目であったことが助けと成った。現状であると、容積重は低目、蛋白質は高めの傾向が予想される。

7月1日付けUSDAの冬・春小麦の生産量予想が発表された。冬小麦の単位収量は6月1日の予想より2.0bushels増え、昨年比1割増の64.0 bushels/acreと成った。春小麦の単位収量は、44.0 bushels/acre（昨年：43.0 bushels）であった。

### 土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	23	31	46	0
Subsoil (%)	5	33	62	0
Irrigation Water (%)	0	5	95	0

### 小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Spring wheat Headed (%)	99	89	96	92
2003 Winter wheat Harvested (%)	1	0	1	1

### 小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
Dry Land (%)	1	5	26	48	20
Irrigation (%)	0	0	13	81	6
Spring wheat					
Dry Land (%)	3	10	43	34	10
Irrigation (%)	0	0	12	88	0

Source: Washington Agricultural Statistics Service

次ページに続く。

71日付け農務省発表の冬及び春小麦生産量予想：

Kind of Wheat	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
Winter	1,750	1,800	59.0	62.0	64.0	103,250	115,200
Spring	615	545	43.0	-	44.0	26,445	23,980

当該作柄レポートへのご質問、ご意見は下記宛てにお願いします。

小川正晃 : E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)